

令和6年新春

地蔵様とあじさいの寺

# 光照寺だより

## きゃっかしょうこ 脚下照顧

～履物をそろえると心がそろろう～

禅語「脚下照顧」を目にされたことがおありでしょう。簡単に言えば「今の自分のありようを足元から見つめ直せ」と言うことです。そのための行いの第一歩は「履物そろえる」ことです。

永平寺の貫主であられた故宮崎奕保禅師はスリッパを例に出して脚下照顧をこのようにお話しされました。

「朝起きたら、仏壇に向かって線香をまつすぐに立てて、体をまつすぐにして坐りなさい。体がまつすぐになると心がまつすぐになり、心がまつすぐになると思うことがまつすぐになり、思うことがまつすぐになると言うことがまつすぐになり、言うことがまつすぐになると行うことがまつすぐになる。

例えばスリッパを脱ぐ時だ。スリッパをそろえるのが当たり前のことだ。スリッパがいがんでおったら（曲がっていたら、乱れていたら）ほおっておけないんだ。スリッパがいがんでおるということは、自分がいがんでおるということだ。自分がいがんでおるから、いがんだスリッパが直せないんだ。」と。

宮崎禅師は、永平寺の修行僧のスリッパが乱れているのを見ると、ご自身自らスリッパを直して「これでスリッパが成仏した」とおっしゃられたそうです。スリッパが成仏するとは、常人には思いも至らぬ感覚です。スリッパを直すも乱すも人間ですが、スリッパ自身もそろえてほしがっているのですね。お宅の玄関に成仏できずにさまよっている履物はありませんか。

宮崎禅師は続けて「物を置くにもまつすぐに置くのとちぐはぐに置くのと、すべて心が表れておるのだから、心がまつすぐであつたら、すべてのものをまつすぐに置く必要がある。ちゃんと型にはまったものが平生底（日常）でなければならぬ。」と。

（年頭の挨拶に代えて 方丈）

## 「あじさい」各種メディアで紹介されました



月刊キャレル6月号



新潟日報6月28日付



UXテレビ「まるどり」6月24日

これらの影響もあり多くの方においでいただきました。土日は駐車場が足りないほどでした。

あじさいは6月中旬から下旬にかけてが一番の見どころです。

ご家庭に不要のローソク・線香がありましたら、お寺に寄付していただだけませんか。四月の地蔵講に使わせていただきます。